

40. 病理科

病理科部長 大石善丈

大石善丈、平木由佳医師、宮崎佳子医師、増本陽介医師の4人体制で生検、組織診、術中迅速診断、細胞診、病理解剖、CPC等のカンファランスに対応した。10月からは久保山雄介医師が加わった。九州大学病理学教室員や、福岡山王病院の大屋前部長に週1回ずつ診断応援をいただいた。血液疾患はこれまで同様、久留米大学病理学教室の大島教授に御高診いただいた。病理組織診、細胞診の総数はそれぞれ約9,200件に達した。

< 2023年中央検査部病理診療業績 >

1. 病理組織診断 9,227件 (特染 2,341件、免疫染色 1,795件)
(癌 1,985件 悪性疑い 888件 肉腫 5件
リンパ腫 174件 黒色腫 5件)
2. 術中迅速診断 459件
3. 細胞診 9,271件
4. 遺伝子診断 18件
ISH法によるEBER-1の解析
(検体は胃切除標本など)
5. 血球細胞機能検査 580件
(フローサイトメトリーによる造血器腫瘍の診断など)
検体は末梢血、骨髄、リンパ節等の新鮮材料
6. 腎生検 37件
7. 蛍光抗体検査 74件
8. 剖検 10件

